

— 第 54 号 —

2017.10.25

百くせの  
**筑西市**



# 議会だより



## 目次

議決一覧表	2~4ページ
第1回臨時会	4ページ
決算特別委員会	4ページ
議案質疑	5~6ページ
一般質問	7~15ページ
研修報告	15ページ
議会日誌・編集後記	16ページ

写真：川島小学校

編集 筑西市議会広報委員会 / 発行 筑西市議会

平成29年第1回臨時会 全会一致で可決された案件 (平成29年7月27日開会)		
件名	内容	結果
議案第67号 工事請負契約の締結について	平成29年7月14日建設工事条件付き一般競争入札(電子入札)に付した、茨城県西部メディカルセンター外構工事の請負契約を締結するもの	原案可決
議案第68号 平成29年度筑西市一般会計補正予算(第3号)	住民参加型まちづくりファンド補助事業(ハード事業分)の補助金を増額補正するため、歳入歳出それぞれ804万余円を追加するもの	原案可決

平成29年第3回定例会 全会一致で可決された案件 (平成29年9月6日開会)		
件名	内容	結果
報告第13号 処分事件報告について(和解に関する事 及び損害賠償の額を定めることについて)	一本松地内で起きた公用車の接触事故に伴う損害賠償について、専決処分事項の指定に基づき専決処分したもの	報告
報告第14号 処分事件報告について(和解に関する事 及び損害賠償の額を定めることについて)	藤ヶ谷地内で起きた公用車の人身事故に伴う損害賠償について、専決処分事項の指定に基づき専決処分したもの	報告
議案第69号 市道路線の廃止について	下館地区における用途廃止による1路線、関城地区における用途廃止による3路線、明野地区における用途廃止による3路線、合計7路線を廃止するもの	原案可決
議案第70号 市道路線の認定について	下館地区における再認定による1路線及び開発行為による1路線、明野地区における再認定による3路線、合計5路線を認定するもの	原案可決
議案第71号 筑西市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び筑西市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	児童福祉法の改正により養子縁組里親が法定化されたことに伴い、職員の早出遅出勤務及び育児休業の適用範囲について変更するため、条例を改正するもの	原案可決
議案第72号 筑西市特別職の職にある者で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部 改正について	農業委員の報酬に能率給を加え、農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農地利用最適化推進委員並びに農業委員候補者選考委員会の委員長及び委員の報酬を追加するため、条例を改正するもの	原案可決
議案第73号 筑西市証人等の実費弁償に関する条例の 一部改正について	農業委員会等に関する法律及び地方公務員法の改正により、引用条項が改正されたため、所要の改正をするもの	原案可決
議案第74号 筑西市税条例の一部改正について	固定資産税における前納報奨金制度を廃止するため、該当条項を削除するもの	原案可決
議案第75号 筑西市保健センター条例の一部改正について	筑西市関城保健センターが関城支所に移転することに伴い、位置の規定を改正するもの	原案可決
議案第76号 筑西市の地酒等で乾杯を推進する条例の 制定について	本市産の酒類又食材を原料とする飲料による乾杯を推進することで地場産業の振興等を図るため、条例を制定するもの	原案可決
議案第78号 平成29年度筑西市一般会計補正予算(第4号)	関城支所の老朽化した各種設備の修繕・更新等のほか、全地区の道路補修等により、歳入歳出それぞれ6億800万余円を追加するもの	原案可決

## 平成29年第3回定例会 全会一致で可決された案件 (平成29年9月6日開会)

件名	内容	結果
議案第79号 平成29年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	被保険者の特定健康診査の受診促進により、生活習慣病の早期発見、重症化の予防を図るため、歳入歳出それぞれ808万円を追加するもの	原案可決
議案第80号 平成29年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	平成28年度決算に伴い、繰越金が確定したため、一般会計への繰出金を増額するもの	原案可決
議案第81号 平成29年度筑西市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	平成28年度決算に伴い、繰越金が確定したため、一般会計からの繰入金を減額するもの	原案可決
議案第82号 平成29年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第1号)	下館地区に新たな地域包括支援センターを開設するための債務負担行為を設定するもの、また平成28年度決算に伴い、介護給付費等について実績が確定したため、国・県・社会保険診療報酬支払基金への返還金、基金への積立金、一般会計への繰出金等を増額するもの	原案可決
議案第83号 平成29年度筑西市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	平成28年度決算に伴い、繰越金が確定したため、一般会計への繰出金を増額するもの	原案可決
議案第84号 平成29年度筑西市水道事業会計補正予算(第1号)	浄水場施設管理業務委託の債務負担行為を追加するもの	原案可決
議案第85号 平成28年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	地方公営企業会計制度の改正により生じた未処分利益剰余金を資本金に組み入れるもの	原案可決
議案第86号 資産の取得について	茨城県西部メディカルセンターに係る医療機器の整備のため、MRI装置を購入するもの	原案可決
議案第87号 資産の取得について	茨城県西部メディカルセンターに係る医療機器の整備のため、X線TV装置(多機能タイプ)を購入するもの	原案可決
認定第2号 平成28年度筑西市水道事業会計決算認定について	平成28年度水道事業会計の決算を認定するもの	原案認定
認定第3号 平成28年度筑西市病院事業会計決算認定について	平成28年度病院事業会計の決算を認定するもの	原案認定
議案第88号 資産の取得について	茨城県西部メディカルセンターに係る医療機器の整備のため、無影灯及び処置灯を購入するもの	原案可決
議案第89号 資産の取得について	茨城県西部メディカルセンターに係る医療機器の整備のため、シーリングユニット関連を購入するもの	原案可決

### 【請願】

請願第4号 教育予算の拡充を求める請願	きめ細かな教育の実現のために少人数学級を推進し、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること	採択
------------------------	---	----

### 【議員提出議案】

議員提出議案第6号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書(案)の提出について	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書を国に提出するもの	原案可決
--	--	------

平成29年第3回定例会 賛否が分かれた案件																										
議員名	小倉ひと美	三澤 隆一	藤澤 和成	森 正雄	保坂 直樹	田中 隆徳	稲川 新一	小島 信一	大嶋 茂	石島 勝男	増淵 慎治	仁平 正巳	真次 洋行	尾木 恵子	外山 壽彦	金澤 良司	箱守 茂樹	藤川 寧子	堀江 健一	秋山 恵一	赤城 正徳	榎戸甲子夫	三浦 謙	鈴木 聡	議決結果	
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案認定

※ ○=賛成、×=反対。金澤議長は採決には加わりません。

**議案第77号：筑西市農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について**

農業委員等に関する法律の改正により、農業委員の公選制が廃止されたことに伴い、市長が選任する農業委員の定数及び新たに設置される農地利用最適化推進委員の定数を定める条例を制定し、併せて附則において筑西市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例を廃止するもの

**認定第1号：平成28年度筑西市一般会計及び特別会計決算認定について**

平成28年度一般会計及び特別会計の決算を認定するもの

**第1回臨時会**

平成29年第1回臨時会が7月27日に開かれました。

茨城県西部メディカルセンター外構工事の請負契約、住民参加型まちづくりファンド補助事業に係る補正予算議案の提出がありました。

議案は本会議で慎重に審議され、全会一致で可決されました。

**決算特別委員会の審査から**

- 決算特別委員会が9月22日、25日の2日間開催され、平成28年度の一般会計、特別会計及び企業会計における決算を審査し、いずれも認定すべきものと決しました。また、27日の本会議においても、原案のとおり認定されました。主な審査の内容は次のとおりです。
- 【市長公室】
  - 企業誘致活動の成果と今後の取り組み
- 【総務部】
  - 公有財産（市有地）の売却実績
- 【企画部】
  - 広域連携バスの運行経費と財源
- 【税務部】
  - 市税の不納欠損額と収入未済額の状況
- 【市民環境部】
  - マイナンバーカードの交付状況
- 【保健福祉部】
  - あけの元気館に指定管理者制度を導入した効果
- 【経済部】
  - 農産物ブランド化の取り組みと
- 事業効果
- 【土木部】
  - 道の駅整備に関する業務委託
- 【上下水道部】
  - 公共下水道受益者負担金の未納対策や加入率
- 【中核病院整備部】
  - 公立2病院業務統合に向けた取り組み状況
- 【市民病院】
  - 病院事業会計補助金の推移
- 【教育委員会】
  - 教育環境の整備と歴史・文化関連施策の推進
- 【農業委員会】
  - 農地の違反転用への指導
- 【決算特別委員会委員】
  - ◎石島 勝男 ○稲川 新一
  - 小倉ひと美 三澤 隆一
  - 藤澤 和成 森 正雄
  - 保坂 直樹 田中 隆徳
  - 小島 信一 仁平 正巳
  - 真次 洋行 鈴木 聡
- （◎委員長 ○副委員長）

議案に対する質疑は、4人の議員が質疑をしました。

**議案第78号**  
**産地パワーアップ**  
**事業とは**

【森正雄議員】  
産地パワーアップ事業は、産地の競争力強化のため、国が新たに設けた補助制度であるが、どのような内容か。

【経済部長】

平成27年度に創設された国の補助事業で、意欲ある農業者が農作業の効率化や高付加価値作物への転換による収益力向上に、一体的かつ計画的に取り組むために必要な農業機械・施設等の導入を支援する事業である。

【森正雄議員】

今回、補正予算に計上した事業の内容は。

【経済部長】

上野地区の大豆栽培作付け転換事業と黒子地区の水田品種転換事業の2件で、導入機械等に対する補助事業である。

【森正雄議員】

産地パワーアップ事業を申請

する場合、事業計画を策定する必要があり、このことだが、どのようなものか。

【経済部長】

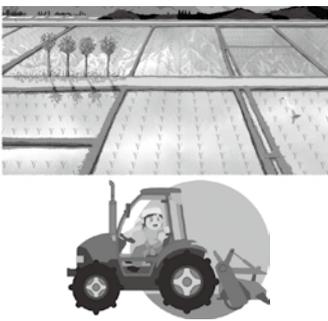
事業計画は、農業者等が収益向上に係る成果目標を設定し作成する。この事業計画をもとに、農業再生協議会で産地パワーアップ計画書を作成し、産地の範囲、収益性向上のための取り組み方法、期待される効果などを位置付ける。

【森正雄議員】

事業の採択要件は。

【経済部長】

面積要件は、大豆については20ha以上、水稲は50ha以上で、収益性向上の成果目標を設定し、その目標の実現が見込まれる事業になる。



**議案第78号**  
**協和保育所が民間**  
**移譲になる経緯は**

【稲川新二議員】  
協和保育所を民間に移譲することになった経緯は。

【保健福祉部長】

本年4月現在、本市の待機児童は5人、希望する保育所などに入所できない児童が約90人いる。この対策の一環として、定員を増やした認定こども園として整備していくこととなった。隣接する旧協和総合センターの跡地の一部を含め、将来的には協和地区の教育、保育、子育て支援の拠点となる幼保連携型の認定こども園とするものである。また、財政面は、公立で運営するよりも民間で運営する方がかなり有利な制度となっていることから、実施主体については民間事業者をお願いしたいと考えている。

【稲川新二議員】

認定こども園の整備は、当然

協和幼稚園にも影響が及ぶと思う。保護者の意見は。

【保健福祉部長】

幼稚園の保護者には、まだ説明をしていない。

【稲川新二議員】

幼稚園の保護者からも意見を聞く必要があると思うが。

【保健福祉部長】

今後検討して進めていきたい。

【稲川新二議員】

整備までの計画は。

【保健福祉部長】

今後は測量を行い、年明けに事業者の募集、来年度の早い時期に事業者を決定し、平成30年第2回または第3回定例会に条例等の改正案を提出していきたい。



## 議案第78号

問 観光資源開発事業  
について

【三浦議員】

『るるぶ』のこれまでの配布状況と配布による効果・手応えについて伺いたい。

【経済部長】

市内では、掲載店舗・公共施設・金融機関・JR水戸線ほか鉄道の各駅、市外では、JT B 関東、関東の各道の駅、観光協会などに配布している。今後、東京にあるアンテナショップ「まるごと」に「ぼん」や「茨城マルシェ」などプロモーション効果が得られる場所や観光イベントでの配布を予定している。なお、これまでの配布部数は8月末で4万9,364冊。実際に『るるぶ』を手にとり、本市を訪れる方もおり、一部の飲食店では行列ができるなど、配布による効果が出てきている。また、『るるぶ』を譲ってもらいたいとの問い合わせ

も多数ある。

【三浦議員】

一番効果があると思ったのは、名物の食べ物である。開店前から行列ができるなどの反応があるそうだが、具体的には。

【経済部長】

飲食店では、市内のラーメン店。下館ラーメンという宣伝もあり、いずれも行列ができていると聞いている。

【三浦議員】

配布による市外や県外からの効果は。

【経済部長】

イベント関係では、現地までの行き方や場所の確認など、以前より問い合わせが増えている。



るるぶ筑西市

## 認定第1号

問 決算をふまえて  
今後の財政運営は

【鈴木議員】

昨年度の決算については、市税の減収、普通交付税の算定替えによる減収等があった。今後、財政的に厳しくなると思うが、市民サービスを低下させてはいけない。来年度の予算編成等、今後の財政運営をどうしていくのか。

【企画部長】

市税の見込みでは生産年齢人口の減少もあり、何もしなければ、税収は減少していくと予想されるが、本市においては企業誘致に成功し、今後固定資産税の増加、景気によっては法人税割の大幅な増加も望めるかと期待する。普通交付税については平成32年には優遇措置がなくなり減少する。また、昨年度、今年度と財政調整基金等を取り崩し当初予算の編成のための財源として使用している。税収や基金等

の減少を鑑み、市民サービスの低下を招くことのないよう、長期の財政計画を策定しながら予算編成を慎重に進めてまいりたい。

【鈴木議員】

来年度予算編成では老朽化した公共施設のインフラ対策も必要になると思うが。

【総務部長】

現在、第3次行政改革を進める中で基本方針として公共施設適正配置を実施しており、所管課と財政事情等を考慮しながら進めたい。また、個別の施設修繕計画等については所管課での対応となるが、状況に応じ、行政改革担当と相談しながら進めている。



# 消防団応援の店制度を市独自で導入できないか

非常に良い制度であると思うので検討したい



森 議員

【議員】

消防団応援の店制度は、消防協会が推進している制度で消防団員やその家族に、飲食店や物販店がサービスを提供する制度である。消防団員の活動を地域で見える形で評価することは、消防団員の確保ややる気にもつながる。市独自で導入できないか。

【市民環境部長】

消防団員を応援する体制づくりを進めることは、消防団員の意欲向上、活性化につながると思われる。今後、実施に向けて検討してまいりたい。

【議員】

この制度は、一方で商店街、中小企業の活性化にもつながる。団員とその家族を含めると多くの消費需要が見込める。商工政策としても前向きに検討してはどうか。

【経済部長】

地域経済の活性化にもつながり、さらに応援

市政全般に関する一般質問は4日間にわたって行われ、17人の議員が質問をしました。

他の質問  
消防団の装備の充実と団員の処遇改善  
消防団協力事業所表示制度



する店も、社会貢献の店としてイメージアップ効果も期待されることから、制度実施の際には、関係機関と連携を図り登録していただけるようPRしてまいりたい。

【議員】

関係部長から前向きな答弁をいただいたが、市長の考えも伺いたい。

【市長】

消防団の皆様には本当に感謝している。非常に良い制度であり、関係機関と相談してしっかりと進めていきたい。

# 明野地区小学校5校の運動会を中学校で一緒に開催しては

小中一貫教育モデル校を進めていることから、学校や保護者等の意見も聞きながら検討をしていきたい



仁平議員

【議員】

明野中学校校区は本市の小中一貫校のモデル校に選定されたが、現在までにどのような取り組みをしてきたのか。

【教育部長】

昨年度は中学校の運動会に小学6年生が参加したり、部活動体験、英語授業体験をした。今後は、中学生が小学校の運動会や学びの広場へのボランティア活動、職場体験学習をしたり、小学生が中学校文化祭への参加を計画している。

【議員】

児童生徒間交流が主体的な取り組みのようだが、そこで提案したい。明野地区には小学校5校あるが、児童数の減少により運動会のプログラムに保護者の参加がないと午前中で終わってしまうとか、競技自体が成り立たない等の課題がある。全国でも有数の広い敷地面積を誇る明野中学校のグラウンドを利用して

小学校5校一緒に運動会を開催すれば、全ての面で効率のかつ盛り上がるかと考えるのがいがか。

【教育部長】

合同開催となると、当日の登校手段、予行演習の実施方法、運動会プログラムの構成など、検討課題も多い。しかし、児童数が減少している状況や他校児童との交流という観点、そして小中一貫教育モデル校であることから、今後、学校や保護者等の意見も聞きながら、検討していきたい。

他の質問  
明野公民館の施設整備  
小学校の英語教育  
茨城県知事選挙投票率  
特別養護老人ホームの待機者



# インバウンド推進への取り組みは

※インバウンド…外国人の訪日旅行のこと

魅力ある観光メニューの開発と  
多言語対応パンフレットの作成を予定



大嶋議員

【議員】インバウンドの推進は観光収入の増加や雇用の創出、地域経済の活性化などが期待される。今年3月、筑西市観光資源調査・発掘協議会から筑西市観光推進のためのアクションプランが市に示された。本県には茨城空港、近くには北関東自動車道の桜川・筑西ICがあり、平成32年には本市の道の駅がオープン予定である。インバウンドの推進はまちの活性化を図るうえで重要であり、チャンスとも考えるが、当市の取り組みは。

【経済部長】外国人旅行者の誘客促進のため観光商談会に参加し、筑西市の魅力発信に努めている。今後、旅行者のニーズを調査し、魅力ある当市ならではのメニューの開発に取り組んでいきたい。

【議員】市のPRに、先頃発行した『るるるぶ』の英語版

版や観光アプリ英語版を作成してはどうか。

【経済部長】

『るるるぶ』英語版については、本市の地域振興に関する協定を締結している関係機関と協議していきたい。観光アプリ英語版の作成は、開発費や維持管理の運用コストも必要となるため検討を要する。今年度はインバウンドの取り組みの一つとして、多言語対応パンフレットの作成を予定している。外国人ニーズを反映させたものとして、旅行会社等への配布や市ホームページに掲載する。今後も外国人旅行者へのPRと誘致活動に取り組んでいく。



他の質問  
▼一次・二次・三次医療  
▼機関等の連携対策  
▼改正個人情報保護法  
ほか

# 明野地区には認定こども園がないが

既存の民間保育所が認定こども園への移行に向け準備している



小倉議員

【議員】関城地区には、公立の認定こども園せきじょうがあり、協和地区でも公立保育所を民間移譲し、認定こども園とする整備計画がある。明野幼稚園は今後、どのような形になるのか。

【教育部長】関城地区は、公立の幼稚園、保育所が隣接する形で認定こども園として運営をしている。協和地区も、公立の幼稚園と保育所が近くにあることから、運営・あり方について検討している。しかし、明野地区には公立の保育所がなく、明野幼稚園単体での運営になると思われる。また、既存の民間保育所も幼保連携型の認定こども園化を行うことから、幼稚園部分の利用定員が増加する。今後の少子化、公立幼稚園としての保育需要等を十分把握しながら、あり方について検討していきたい。

【議員】現在、明野地区には認定こども園がないが。

【保健福祉部長】

認定こども園は、幼稚園の機能と保育所的機能の両方の機能を併せ持つ施設であり、就学前の子供に対する保育及び教育、保護者に対する子育て支援など総合的な提供を目的としている。現在、下館地区には8カ所、関城地区には1カ所開設している。明野地区については、現在既存の民間保育所が幼保連携型の認定こども園に移行する準備を進めている段階である。



他の質問  
▼児童扶養手当  
▼地域医療  
▼若者・子育て世代住宅  
▼取得奨励金制度  
▼子ども議会での提案  
『おすすそ分け』

# 小貝川・五行川の合流地点である 蕨の内水被害の対策は

## 排水ポンプ機場の設置は難しいが しっかり考えていきたい



榎戸議員

【議員】 養蚕地区の蕨は小貝川と五行川の合流地点にあり、昭和61年の大水害で被害を受けた後、立派な堤防が整備された。しかし、現在でも家屋にまでは及ばないものの、水田への内水による冠水被害があり、地元の耕作者から排水ポンプ機場設置要望の声がある。今後の対策は。

【市長】 河川改修以前は蕨地内の農地は頻繁に浸水被害を受けていたが、幹線排水路の整備、蕨下排水樋管の設置により台風などの大雨時以外の冠水は解消されていると考える。また、排水ポンプ機場の整備計画は国土交通省の設置許可が必要となり、大変難しい。ご理解いただきたい。

【議員】 昨今の異常気象を考えると、今後、間違いなく内水による被害が出ると考えるが。

他の質問  
人口減少対策  
チーム学校の方向性



【市長】 先々、養蚕橋改修の話も聞いているので、そうしたこととも契機として対策を考えたい。

【議員】 本城町の下館小学校から北側の崖、傾斜地の部分が未整備であり、地元からも土砂災害の不安の声が上がっているが。

【市長】 土砂災害警戒区域については県と市でパトロールを行い、災害の生じそうなどころは対策を練ることで話し合っている。ご指摘のような工事については県において法律に従い申請・審査・工事を行っている。

# 互産互消の取り組みについての感想は



藤澤議員

## 新たな経済交流・人口交流を生み 非常に大切なこととして今後期待される

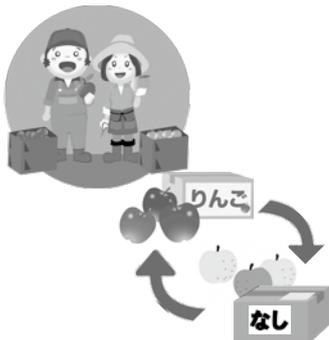
【議員】 農産物の新しい取り組みとして「互産互消」がある。昔でいう物々交換で、お互いのまちでとれるおいしいものをおいしい時期に食べようというものである。本市でも「互産互消」に取り組んでいる方がおり、本市産の梨が山形県朝日町の道の駅で販売され、11月頃に朝日町産のリンゴ「ふじ」が本市に届く予定とのことである。梨は交流の手始めであり、今後、人的な交流も始まるとのことだ。感想を伺いたい。

【市長】 このような取り組みは、新たな経済交流や人口交流を生むという面で、非常に大切なことであり、今後期待したい。

【議員】 互産互消に取り組んでいる方に、市としての支援や協力はできないか。

【経済部長】 互産互消は、お互いの

他の質問  
人口減少対策  
市産品のトップセールスの取り組み状況  
茨城県西部メデイカルセンター評価委員会の東西総合病院の解散清算  
茨城県知事選挙の投票率と投票時間



地域にないものを相互に補完し、お互いの魅力を高め合う新たな取り組みである。市としても本市の魅力を広く知ってもらうために、農産物のPRポスターや観光パンフレットなどを提供していきたい。また、山形県朝日町で生産されたリンゴを本市で販売される際には、販売場所の紹介などの支援、協力をしていきたい。



# スピカ・アセット・マネジメント株式会社等の 議会チェックに必要な資料提供は

議会チェックは必要であり  
でき得る限り資料提供をしていきたい



小島議員

【議員】スピカビルを運営しているスピカ・アセット・マネジメント(株)は第3セクターであり、その経営は透明性が重要である。経営について、議会報告や議会チェックの必要性をどのように考えているか。

【総務部長】スピカ・アセット・マネジメント(株)は市が資本を50%以上出資する第3セクターであるため、地方自治法の規定に基づき、経営状況を説明する資料を議会に提出しており、議会のチェックは必要であると認識している。

【議員】議会のチェックは重要であると考え、これだけの資料では、足りないのではないかと。

【総務部長】開示可能な範囲での、関係資料の閲覧もしくは提供を考えたい。

【議員】経営内容、売上内容、売上原価が分かる資料

はいただきたいと思うが。

【市長】国の指針で経営状態は、議会や市民に説明することになっていて。でき得る限り開示したい。

【議員】区分所有者で組織するスピカビル管理組合も、総会資料や修繕計画等の重要な資料は、議会へ報告する義務があるのではないかと。

【総務部長】制度上は議会報告を要するものではないが、所要の手続きにより開示を考えている。



他の質問  
市長の政治姿勢  
建設残土の有効活用と  
盛土条例  
介護サービス  
茨城県西メディカルセンター  
筑西市ホームページ

# 人口減少対策への市長の考えは

人口10万人を死守するため  
市民・議員・職員の協力のもと各施策に取り組む



秋山議員

【議員】市長の座右の銘に等しい三位一体のごとく、執行部と市民と議員がしっかりと手を結んで施策に取り組み、市民に夢とロマンを与えるべく努力することが、長年山積している市の問題解決につながる。子々孫々に誇れる郷土づくりができるかと痛感している。そこで、人口減少対策として市長が考える施策を伺いたい。

【市長】先日1件の企業誘致が決まり、これまでで13件の誘致ができた。今後も税収増や雇用対策に努める。茨城県西部メディカルセンターについては、市民の命と健康を守るためプロジェクトチームを立ち上げるなどして平成30年10月の開院を目指す。小中学校の給食費については、近い将来に財源を確保したうえで無償化へと進めたい。国道50号は、結城市との境の田川橋から鬼怒川

の新川島橋を通り江連用水までを5年以内に4車線化することが決定した。また、国道294号の早期4車線化にも努める。道の駅については地権者の同意と事業へのご協力により、当初計画を前倒しして平成31年10月の国体に間に合うよう整備したい。このほか、北関東自動車道桜川筑西ICと真岡IC間にスマートインターを設置したいとの考えもある。人口10万人を死守するためにも、私が先頭に立ち、市民、議員、職員のご協力をいただき、各施策を推進していきたい。



他の質問  
河間北部地区農業集落排水処理施設建設事業  
行政改革課題と展望  
ほか

# 魅力と個性ある農業の振興に対する課題は



石島議員

高齢化・後継者不足の農業を  
若者が希望を持てる産業へと育成していきたい

【議員】本市は平たんので広大な農地と豊かな土壌、水利に恵まれ、米や野菜を中心とした都市近郊型農業が営まれていて、生産量全国一位を誇る。こだますいかを初め、梨、イチゴ等、多彩な農業が展開されている。魅力と個性のある農業の振興に対する現状と課題は。

【市長】本市は、筑波山の裾野に広がる平野と市内を流れる河川に恵まれ、肥沃な大地の恩恵を受け農業生産額は近隣自治体と比較しても非常に多い。特に水稲作付面積は県内1位であり、まさに米どころである。また、梨・こだますいかについても国内有数の産地であり、いずれも県の銘柄産地の指定を得ている。これらは農業者の長年の取り組みにより築かれたものであり、財産として守り続けるべきものである。

- ▼ 他 の 質 問
- ▼ あ け の ひ ま わ り フ ェ ス テ イ バ ル
- ▼ 道 徳 授 業
- ▼ 小 中 学 校 の 空 調 設 備
- ▼ 職 員 の 窓 口 対 応



【経済部長】農業振興の課題としては農業従事者の高齢化・後継者不足が進み、産地の維持に危機感をもつ。今後本市農業を持続的に発展させるため、認定農業者、新規就農者の確保・育成を図り、農地の集積・集約化を進め規模拡大やコスト削減など経営力強化を図る必要がある。農産物のブランド化や食の安心安全を担保する取り組み、6次産業化等を推進し、儲かる農業の確立、また、政策の一つである「若者が希望を持てる産業の育成」につなげたい。

## 市民病院の病棟と患者はどうなるのか



藤川議員

病棟は有効活用できるよう  
患者については不安のないよう対応したい

【議員】6年前の東日本大震災後に50床のプレハブ病棟が建てられたが、今は無床化の診療所となる。使わないのもつたいない。来年開院する茨城県西部メディカルセンターには、包括ケア病棟が45床あるが、二次医療としての救急が中心である。もし西部メディカルセンターが順調に機能し、患者が多くなつた場合、病床は足りなくなる。そのため今ある病棟を壊さず、置いておくことはできないか。

【市民病院事務部長】茨城県地域医療再生計画に基づくもので、筑西市市民病院は無床の診療所となることで調整が進んでいる。

【議員】もつたいないので使えないかという市民の声を代弁している。すぐに壊さないとしばらく様子を見るといふことは可能か。

- ▼ 他 の 質 問
- ▼ ド ナ ー 助 成 金 制 度
- ▼ 命 の 教 育
- ▼ 養 護 教 諭



【市民病院事務部長】中核病院の基本構想、基本計画を経た決定事項であり、病床を復元するということは現状では難しいが、いかに有効活用できるか現在協議をしている。

【議員】現在、筑西市市民病院で耳鼻科や眼科、糖尿とか慢性疾患で通院している方は引き続き西部メディカルセンターで受診できるのか。

【市民病院事務部長】あくまでも患者さんの希望に沿った受け入れを行う。いずれの医療機関を選択しても紹介状は必要になる。市民病院で受診している患者さんに不安をおかけしないよう対応したい。

# 「攻めの学校給食」に 本腰を入れる時期では

事例等を検討し、一步踏み出したい



三浦議員

【議員】平成19年に策定された農業総合振興計画には学校給食に関する部分があり、そこには米以外の地場食材はほとんど使われていないとの記載がある。10年を経過した現在でも市内産の使用率は12%と非常に低い。学校給食で地産地消を推進し、その生産体制を生かせれば、都市部への販路拡大につながる。農業を取り巻く情勢は厳しく、今から足腰を鍛える施策を展開していく必要がある、そのためにも安心安全の付加価値をつけた給食ブランドで「攻めの学校給食」に本腰を入れるべきではないか。

【市長】

学校給食の食材には安全な大量の食材が求められるため、直接生産者からの調達には至っていない。どういう形であれば供給可能か、生産者・各種団体等と検討していきたい。

【議員】

学校給食への地場食材活用は確かに困難と思う。単に学校給食に地産地消の拡大を求めるだけではなく、本市の農業全体を考えてのことだ。地場食材の利用拡大の事例も多々あり、可能性は幾らでもある。国でも推進している学校給食推進協議会を作り、理念から話し合うことが必要ではないか。

【市長】

本市は農業市であり、農業従事者の収益を上げることは大切だ。生産者からの直接の調達は集荷や流通関係者の収益を考慮する必要もあり難しかったが、事例等をしつかり検討し一步踏み出したい。



他の質問  
入札改革  
農業振興  
農業委員の選考

# 学校給食費の無償化についての考えは



真次議員

来年度は現在の月300円の補助を  
1,300円程度にしていきたい

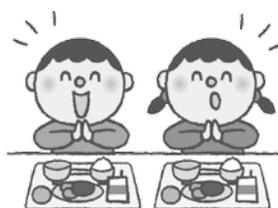
【議員】

職員に対して「人口10万人死守プロジェクト」としてアイデアを募集したところ、一番大事なものは子育てがしやすいまちという意見があつたそう。本市における学校給食費は、2人の子供がいれば毎月約9,000円がかかり、若い世代には、かなりの負担となる。これからの時代は人への投資というところで、全国的に学校給食費の無償化が始まっているが、本市でも給食費の無償化をいち早く実施し、アピールすることによって、茨城県をはじめ全国の市町村に本市の魅力発信すれば、人口減少の歯止めにもなると考える。無償化には約4億円近くかかり、財政面での問題もあるが、市長の考えはいかがか。

【市長】

学校給食費を無償化するには、一般財源から約4億円を捻出しな

ればならないため、一度に無償化とするのは厳しい。しかし、人口減少対策として子育て支援や定住促進への効果が期待できることから、まず来年度は現在行っている1か月300円の補助を1,300円程度に引き上げ、近い将来無償化に向け、4億円の財源確保を真剣に考えていきたい。



他の質問  
次期知事に期待すること  
空き家対策  
若者・子育て世代住宅取得応援事業及び多世代同居等住宅支援事業  
マイナワンバード  
本庁舎1階憩いの広場  
・5階西側スペースの利用のあり方  
公園のバリアフリー化  
県西総合病院

# 広域連携バスダイヤを学生が使いやすいようにできないか

調整が難しい部分もあるが  
精査し十分検討したい



田中議員

【議員】本市の広域連携バスの目的、想定している利用者は。

【企画部長】

本市と鉄道で結ばれていないつくば市等、周辺都市と有機的連携を図ることを目的に昨年10月から運行を始めた。平日は高等学校への通学利用者、通院、買い物、あけの元気館への利用、休日は買い物、食事、レジャーの利用者を想定している。

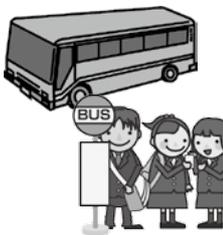
【議員】

今回桜川市では広域連携バスのルートが真壁庁舎から岩瀬庁舎まで延長となった。延長されたことにより岩瀬高校ではスクールバスの利用者が減り、廃止される方向である。本市の明野方面から通う一部の学生は交通手段を失うため、本市の広域連携バスを利用しようとするも、夕方の下館駅発4時5分の便にはほぼ乗れず、次の6時5分の便まで待た

なければならぬ状況である。5時台の便がなく非常に利用しづらい。これは一部の高校に限った話ではない。人口10万人死守の職員アンケートの回答で一番多かったのは子育て支援策とのことだが、広域連携バスのダイヤについても子育て支援として、もう少し学生に配慮できないか。

【企画部長】

広域連携バスのダイヤの件は要望書等を受けている。市内外に通う高校生の時間帯に合わせる等の調整は難しい部分があるが、要望の内容を精査し多くの高校生が使えるよう十分検討したい。



他の質問  
財政運営  
茨城県西部メディアカルセンター

# 災害対応型自販機の指定避難所等への設置は

指定避難所となる小中学校への設置について  
協議していきたい



尾木議員

【議員】

災害時に対応できる自動販売機はライフラインが止まった時など、いざという時の強い味方になる。本市の災害対応型自動販売機の設置状況を伺いたい。

【総務部長】

市が管理するものでは、市内9施設に合計13台。また、スピカ・アセツト・マネジメント㈱が管理するものが、スピカビル内に計2台設置されている。

【議員】

災害対応型自販機には様々な種類があるが、設置されている自販機はどのようなものか。

【総務部長】

基本的には、緊急時に職員が鍵を持ってきて、中にあるジュース等を取り出すタイプである。

【議員】

現在は災害情報を表示したり、簡易トイレや救助用工具を備えた自販機もあるようだ。先進地では、指定避難所や病院などへの設置が

進んでいる。本市も、そういう所に災害対応型自販機の設置が必要だと思いがいかか。

【市民環境部長】

本市の自販機は鍵で製品を取り出すものだが、避難された方々の利便性を向上させる機器である。本市の指定避難所は小中学校になるので、教育委員会や各学校と導入について協議していきたい。

【教育部長】

指定避難所への設置というのであれば大変有効な方法の一つと考える。学校の管理者である学校長と協議をしていきたい。



他の質問  
改正水防法に対する取り組み  
災害時受援計画  
男女共同参画の視点からの防災研修 ほか

# 保育士の処遇改善に対する 今後の市の方向性は

各保育所等の状況や他市の事例を調査し  
有効な事業の実施について、検討していく



保坂議員

【議員】平成29年から技能と経験に応じた保育士の処遇改善の制度が始まったと聞くが、制度について伺いたい。

【保健福祉部長】保育士の処遇改善事業の中のキャリアアップ制度のことで、これまでの役割は園長と主任保育士であったものを、副主任保育士や専門リーダーの役割を創設し、賃金アップを促進する制度である。この制度等により、平成24年度の賃金と比較して、平成29年度では1人当たり月額3万2,000円から7万2,000円が処遇改善されることになる。

【議員】役職につくことによりやりがいや給与面においても大幅に改善される。役職についているかのチェックはどのように行っているか。

【保健福祉部長】各施設から給与台帳等を提出していただき、

状況を確認している。

【議員】高まる保育ニーズにおいて、働き方改革や賃金アップなど必要になってくるが、今後の市の方向性について伺いたい。

【保健福祉部長】市では独自に、定数以上に保育士を配置している施設には、補助金を交付する保育士確保促進事業を行っているが、今後、各保育所等の状況や他市の事例など調査し、有効な事業の実施について検討していきたい。



他の質問  
茨城県西部メディアセンター  
市民病院

## 研修報告

【広報委員会】

研修日 7月31日

視察地 栃木県宇都宮市  
テーマ

・議会の広報活動について  
議会だよりのタイトルが「あなたと市議会」と柔らかく、写真も報道写真が使用されており、手に取って読みたくなる。内容も、全面カラー印刷でテーマにより色分けされているため、誰にでも分かりやすい構成となっている。また、ホームページにも力を入れており、今後は子ども向けページを改善していくとのことであった。選挙権が18歳に引き下げられたこともあり、今後、子どもにも議会に興味をもってもらうことも必要である。



宇都宮市議場にて



栗原市役所にて

【議会運営委員会】

研修日 8月22日～23日

視察地 宮城県栗原市・登米市  
テーマ

・議会報告会について  
栗原市議会では、報告会の活動原則として、報告に徹し、原則議員個人の見解を述べず、各常任委員会が作成した報告書に基づき統一した内容を報告することであった。

登米市議会では、各地区の各種団体と共催で、地域ごとにテーマを設定し地域の意見を聴き市民と議員が自由に情報や意見を交換する場として開催していた。

両市の共通課題は、参加者が壮年男性に固定化してしまいがちな参加人数も減少しているため、若い世代や女性が参加しやすい日時・回数等の設定を検討すると共に、報告内容の更なる充実を図っていきたいとのことであった。

# 議会目録

- 7月**  
 27日 第1回臨時会  
 31日 広報委員会視察研修(栃木県宇都宮市)
- 8月**  
 21日 第9回全員協議会  
 22日~23日  
 議会運営委員会視察研修  
 (宮城県栗原市、登米市)
- 9月**  
 1日 議会運営委員会、第10回全員協議会  
 6日~27日  
 第3回筑西市議会定例会  
 26日 議会運営委員会  
 27日 広報委員会
- 10月**  
 4日~5日  
 経済土木委員会視察研修  
 (新潟県見附市、燕市)  
 6日 広報委員会  
 11日~12日  
 福祉文教委員会視察研修  
 (新潟県見附市、南魚沼市)  
 13日 議会運営委員会、第11回全員協議会  
 16日 第2回臨時会  
 25日 茨城県市議会議長会理事会・定例会

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は

**平成29年11月29日**

に開会の予定です



日	月	火	水	木	金	土
			11/29	30	12/1	2
			開会 議案説明	休会	一般質問	休会
3	4	5	6	7	8	9
休会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	休会
10	11	12	13	14	15	
休会	総務企画 委員会	福祉文教 委員会	経済土木 委員会	議会運営 委員会	討論・採決 開会	

注) 日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。  
**議会の放映は、市役所本庁舎1階 憩の広場と6階 議場前ホールでご覧になれます。**  
**ケーブルテレビ放映、インターネット配信もあわせてご覧ください。**

## 行政視察来市

- 10月5日  
 次 議 員 が 来 訪 さ れ ま し た 。
- 10月5日  
 岡山県備前市議会(8名)
- ▽ 「移住・定住対策」について
- 10月11日  
 北海道江別市議会(10名)
- ▽ 「筑西市観光推進のためのアクションプラン」について

## 子ども議会が開催されました

8月1日、将来を担う子どもたちが「子ども議会」を体験することにより、身近な地方自治への興味、関心を高めることを目的とし開催されました。

市内7中学校から3名ずつ選出された計21名の議員により、市に対し、提言と質問が行われました。



## 編集後記

私たち広報委員会では、より多くの市民の皆様様に読んでいただける議会だよりにしようと、少しずつではありますが、改善しております。

まず、議会だよりの表紙ですが、どうすれば市民のみならず目にとめてくださる表紙になるのか、また、そのような写真を撮るためにはどうすればいいのか、委員一同工夫をしながら写真撮影をし、各自撮影した写真を持ち寄って表紙を決定しています。

みなさま、お気づきにならなかったでしょうか？前号から各議員の一般質問のページのレイアウトが変更になりました。ページに動きが出て読みやすくなったのではないかと思います。

今後も市民のみならず皆様のご意見をもとに、よりよい議会だよりになりますように委員会協議してまいります。また、ホームページも工夫してまいります。

みなさまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

(小倉 ひと美)

### 【広報委員会】

- 委員長 藤小澤 和成
- 副委員長 田中 隆徳
- 委員 藤倉 美成
- 委員 金次郎 慎徳
- 委員 増田 隆徳
- 委員 三浦 洋行
- 委員 三浦 寧子

筑西市議会事務局  
 筑西市丙360番地  
 電話 0296-24-2173